



本物(者)との関わりを通して

校長 下畑 茂

◇本物から学んだことには、夢に近づくヒントが

ほたる祭りで、水田にも蛍が舞う灯が映っていました。裏山には淡いピンク色のササユリが咲き始めました。また一つ、季節が進んだことに気づかせてくれます。今月は校外の方を招いての行事が充実していました。夢プロジェクトでは「かけっこ教室」で、オリンピックに3回も出場した青戸慎司先生を。「一輪車教室」では世界大会出場の佐藤彩香先生を。美しい姿勢と今まで見たことがない一輪車の動きに魅了されました。

サイエンス・ワールドの方には、液体窒素を使った「サイエンスショー」や理科工作を教えて頂きました。夏休みに向け一研究一作品のヒントになるといいです。

1年生は「飯地町の朝市」のことを特産品部会の方にインタビューしました。学んだことをもとに紹介ポスターを作成して、飯地商店にも飾ってもらう予定です。6年生は飯地太鼓保存会の方にご指導頂いています。

校内ではスクールカウンセラーの先生と一緒に「困ったことに会ったらどうしたらよいか」を学びました。

小規模校にとって、こうした本物(者)との出会いは貴重です。いつもの学校生活に新しい風を感じられる機会が、自分を振り返り、見方や考え方を広げていくきっかけとなることを願っています。指導者の方の演技や言葉には、その人が大切にしている思いや生き方が表れています。「夢先生」のアドバイスが書かれた色紙が「夢プロジェクト」のコーナーに増えてきました。

一輪車の新しい技に挑戦する前に、こぶしを胸に「できる、できる」と口にする姿が。青戸先生から一歩踏み出す力を与えてもらっていると感じます。



飯地小学校運営協議会コーナー PTA 家庭教育学級 救急救命講習会・プール掃除 6月7日(土)

～地域ぐるみで育てたい姿『豊かな体験を通して、ふるさと飯地への愛着と誇りをもつ』～

6月12日(木)岐阜県 PTA 連合会定期大会にて、長年の飯地小学校 PTA 活動に対し、岐阜県教育長より感謝状が贈られました。昨年度秋に岐阜県 PTA フォーラムにて「持続可能な PTA 活動の在り方」について実践発表を行いました。地域の良さを活かした「いいじっ子サポーター」と連携した取り組み。家庭教育学級の充実した活動が引き継がれています。6月7日(土)には、飯地町消防団の方と一緒に救急救命講習会、プール掃除を行いました。様々な人達のお力添えの下、子ども達の成長と共に、保護者の繋がりも深まっています。

